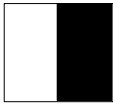
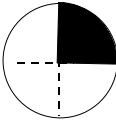
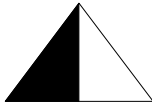
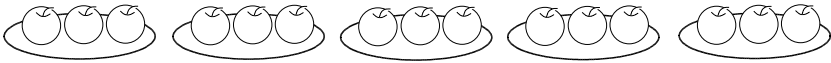


領域	とちぎの子どもの基礎・基本	問題事例
数と計算	10000までの数の表し方や大小，順序が分かる。	<p>問) <sup>すうじ</sup>数字で かきましょう。            四百六十九                      八千三</p> <p>問) どんな <sup>かず</sup>数に なりますか。数字で かきましょう。            100を 35こ あつめた <sup>かず</sup>かず</p> <p>9900より 100 大きい 数</p> <p>問) □ に &gt; か &lt; の しるしを かきましょう。            459 □ 621                      9002 □ 8999</p>
	1/2や1/4など簡単な分数が分かる。	<p>問) <sup>いろ</sup>色を <sup>ぬ</sup>ぬった <sup>ところ</sup>ところの <sup>大きさ</sup>大きさを <sup>ぶんすう</sup>分数で <sup>あらわ</sup>あらわしましょう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div>
	筆算の仕方が分かり，2けたの数のたし算，ひき算ができる。	<p>問) つぎの <sup>けいさん</sup>計算を <sup>さん</sup>ひっ算で <sup>し</sup>しましょう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <math display="block">\begin{array}{r} 42 \\ + 35 \\ \hline \end{array}</math> <math display="block">\begin{array}{r} 39 \\ + 16 \\ \hline \end{array}</math> <math display="block">\begin{array}{r} 58 \\ - 27 \\ \hline \end{array}</math> <math display="block">\begin{array}{r} 86 \\ - 58 \\ \hline \end{array}</math> </div>
	簡単な場合の3けたの数のたし算，ひき算ができる。	<p>問) <sup>けいさん</sup>計算を <sup>し</sup>しましょう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <math>800 + 700</math> <math>500 - 100</math> <math>628 + 7</math> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 20px;"> <math>234 + 57</math> <math>574 - 9</math> <math>362 - 34</math> </div>
	数をまとめたり，順序をかえて計算する仕方が分かる。	<p>問) <math>25 + 19 + 1</math>を <sup>くふう</sup>くふうして <sup>けいさん</sup>計算を <sup>し</sup>しましょう。            (しき) <math>25 + 19 + 1 =</math></p>

<p>かけ算九九ができる。</p>	<p>問) 計算<sup>けいさん</sup>を しましょう。  <math>5 \times 4</math>      <math>4 \times 8</math>      <math>8 \times 7</math>      <math>1 \times 6</math></p> <p>問) 9人で 1チームを つくって、やきゅうを します。  4チーム つくるには、何人<sup>なんにん</sup> ひつようですか。  しきを かきましょう。</p> <p>こた  答えを かきましょう。</p>
<p>簡単な場合の(2けたの数)×(1けたの数)ができる。</p>	<p>問) 計算<sup>けいさん</sup>を しましょう。  <math>4 \times 10</math>      <math>12 \times 3</math></p>
<p>数量関係</p> <p>一つの数をほかの数の積としてみるができる。( )</p>	<p>問) <math>3 \times 4</math> と 答え<sup>こた</sup>が 同じになる、4のだんの 九九を 見つけましょう。</p> <div data-bbox="778 801 1088 1106" style="border: 1px solid black; width: 200px; height: 150px; margin: 10px auto;"></div>
<p>かける数が1ずつ増えるときの積の増え方が分かる。( )</p>	<p>問) 5こ入りの チョコレートを 6はこ かうと ぜんぶで 何こ<sup>なん</sup>でしょう。  また、もう1はこ かうと チョコレートは ぜんぶで 何こ なるでしょう。</p>
<p>たし算とひき算の相互関係が分かる。</p>	<p>問) りんごが 何こ<sup>なん</sup>か ありました。5こ あげたので、のこりが 7こに なりました。はじめに 何こ あったでしょうか。</p> <p>しきを かきましょう。</p> <p>こた  答えを かきましょう。</p>
<p>かけ算の場面を式で表したり、式を読み取ったりすることができる。</p>	<p>問) りんごは、ぜんぶで いくつありますか。かけ算<sup>ざん</sup>の しきを つくって 答え<sup>こた</sup>を もとめましょう。</p> <div data-bbox="580 1850 1414 1912" style="text-align: center;">  </div>



日,時,分を適切に用  
いることができる。

問)( )に あてはまる <sup>かず</sup>数を かきましょう。

1日 = ( ) <sup>じかん</sup>時間

1時間 = ( ) <sup>ぶん</sup>分

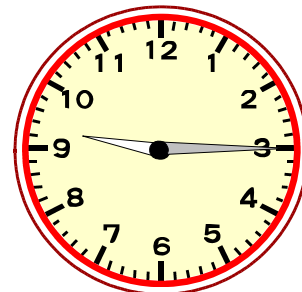
問) <sup>とけい</sup>時計を <sup>み</sup>見て, <sup>こた</sup>答えましょう。

<sup>なんじなんぶん</sup>何時何分 ですか。

時 分

30分あとの <sup>じ</sup>時こくは,  
何時何分 ですか。

時 分



( )...「数と計算」の領域の関連する内容